

一般国道 191 号道路法面崩壊に伴う応急復旧工事の工事再開について

1 要 旨

平成 30 年 6 月 28 日（木）に発生した事故を受けて、応急復旧工事を中止しているが、7 月 6 日（金）に受注業者から提出された工事関係事故報告書を精査した結果、提案された再発防止策等は適当であると判断したため、7 月 15 日（日）より応急復旧工事を再開させることとする。

2 事故の発生状況等

○発生日時：平成 30 年 6 月 28 日（木）16 時 40 分頃

○発生場所：一般国道 191 号道路法面崩壊に伴う応急復旧工事現場（安芸太田町津浪）

○受注業者：栗栖建設工業(株)

○発生状況：仮設防護柵の設置中、鋼板（高さ 3.0m、幅約 1.5m、厚さ 25mm、重量約 900kg）が倒れ、作業員が下敷きになり、病院へ搬送されたが、17 時 53 分に死亡が確認された。

事故当日は、H 型鋼（垂直に建込む鋼材）を建込むための孔の削孔や H 型鋼建込み作業等を行っており、事故発生時は削孔済の孔を修正削孔作業中であったが、設置済の鋼板が転倒し、通りかかった作業員が被災した。

○調査状況：7 月 2 日（月）、警察及び労働基準監督署が実況見分を実施。

3 受注業者の対応

（1）事故後の対応

6 月 28 日 事故後直ちに工事中止

（2）再発防止策

鋼板の転倒防止のため、次の対策を実施する。

- ・ H 型鋼と鋼板の仮留めには取付金具（クランプ）を使用し、トルクレンチによる締め付けを行い、締め付け確認を徹底する。
- ・ H 型鋼と鋼板を確実に固定させるため、設置する鋼板全てについて、従来の取付金具（四角羽子板ボルト止め）に加えて、H 型鋼と鋼板の 4 点溶接を行う。
- ・ 取付金具（四角羽子板ボルト止め）の設置については、トルクレンチによる締め付けを行い、締め付け確認を徹底する。
- ・ 修正削孔を行っていた箇所 H 型鋼建込みについては、上記の取付金具（クランプ）設置、H 型鋼と鋼板の 4 点溶接までの施工後、安全を確保した上で行う。
- ・ H 型鋼と鋼板が確実に固定されているか、毎日の作業前にチェックリストを用いて確認を行う。

4 対応方針

受注業者の再発防止策により、安全な施工が確保できることを確認したため、7 月 15 日（日）8 時 30 分より応急復旧工事を再開する。

なお、応急復旧工事の完了は、工事開始から概ね 1 週間程度を目途としている。